

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度 総合	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 総合学科としての特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学型総合学科としての教育課程に、満足している生徒が80%以上である。	・選択科目及び群編成を検証し、総合学科の特色を生かした、進学型の教育課程になるよう更に改善を図る。	A	A	B	・生徒の多様な進路希望に対応でき、単なる進学型にとどまることのない総合学科ならではの教育課程を編成する必要がある。新教育課程3年目となる来年度はまとめと振り返りの年となるので、多方面からの意見を集約しながら前橋東高校らしい特色ある教育課程を編成していきたい。 ・生徒が学ぼうとする意欲を育てられる授業になるよう引き続き改善を図る。教員間では、学期に1回は互いに授業を参観する機会を設け、効果的な指導について情報を共有し、改善を図っていきたい。	・外部アンケートや自己評価も良好であり、総合学科の特色をこれからも活かして推進してほしい。 ・生徒の多様なキャリア志向を汲んだ指導をしており、プログラミングアワード等の入賞も生徒の興味を伸ばしていく土壌ができていると感じる。 ・他方で、先生方の負担が大きくなりすぎないかが心配である。	
		② 習熟度別・少人数制の授業形態に、満足している生徒が80%以上である。	・習熟度別授業等、効果的な指導を推進するとともに、主体的・対話的視点から授業改善を図る。	A	A	A			
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③ 「授業が分かりやすい」と、評価している生徒が80%以上である	・双方向授業を推進し、学力の定着を確認しながら、生徒が主体的・能動的に授業に取り組める授業を展開する。	A	A	A	・学習や授業の振り返りの機会を活用し、生徒が学力の定着を確認できるようにするだけでなく、生徒が主体的に学びたいと思える授業を展開していく。また、充実した家庭学習に繋がる授業についても、職員全体で取り組んでいくことが必要である。 ・授業目標や生徒の達成目標について数字の評価は高くなっているが、シラバスの見直しが必要だと考えている。教科・科目の学習内容や目標を明確にし、伸ばすべき資質や能力をわかりやすく伝えていくことで、生徒の積極的な学習に繋げたい。 ・ICTを活用した授業は進んできているが、活用法の可能性がたくさん残っていることで自己評価が「B」になっていると考えられる	・受験生に寄り添った指導をしていることが分かる。今後も補習や個別指導等、多くの学習機会を与えてほしい。 ・生徒への学習指導等を教員間で情報共有をすることは大切である。 ・どの授業においてもめあての明確さと振り返りは必要であり、それを職員全体で徹底していることは素晴らしい。生徒が評価の3観点の視点から授業に取り組み、自己を振り返ることができる体制を今後も継続してほしい。 ・スクール・ポリシーにより学外者にも学校の特徴がわかり、入学志願者とのマッチングにも貢献していく。だからこそ、常に改善する意識を持って活用してほしい。	
		④ 進路実現に向けた学習指導が実践されていると評価している生徒が、80%以上である。	・授業目標の明確化を図るとともに、生徒が明確な達成目標を持って学習に取り組めるよう指導する。	A	A	B			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 授業改善のため、教科の枠を超えて研究授業、授業公開、授業研究等を年2回以上実施する。	・ICTを活用した授業、生徒の実態に応じた柔軟な授業展開、適切な評価等の観点から授業改善を行う。	B	A	B			
		⑥ 本校の学習指導は、進路実現に役立つと答えている生徒が80%以上である。	・教科・科目の目標を確実に達成するとともに、各生徒の進路希望を踏まえ、個に応じた指導を一層推進する。	A	A	A			
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ 生徒会活動が充実していると評価した生徒が、80%以上である。	・生徒会行事に実行委員会を設置し、生徒会役員と連携を図りながら、生徒の主体的な活動を促進する。	A	B	A	・生徒会役員・顧問を中心に6月の文化祭、10月の球技大会を盛り上げられるよう企画を工夫し運営することができた。特に文化祭では4年振りに一般公開をすることができ、成功裏に終えることができた。  ・現在26部（文化部10、運動部16）あり、85%以上の生徒が入部している。関東出場 カヌー、卓球、水泳、陸上、吹奏楽、放送、演劇、少林寺拳法 全国出場 カヌー、バレー女子、吹奏楽、放送、美術	・全般的に丁寧な対応をしている。 ・欠席率が低いのはとても良いことである。 ・保護者へも生徒へのアンケート実施をしていることを周知してほしい。 ・服装の規定について、ホームページや通知等で情報提供をしているが、誤解しやすいこともあるので、継続して情報共有の働きかけをしてほしい。 ・生徒指導での丁寧な対応をしており部活動も頑張っている。 ・ヤングケアラー問題に対して実態把握と対策を進めてほしい。 ・「自習が多い」「プリント配布だけで授業しない先生」等、各々の目的を明確にして、三者（先生、生徒、保護者）が納得できる様に、合意形成を大切にほしい。 ・生徒の活躍を、地域の公民館やJA等と連携して、情報発信を工夫してほしい。	
		⑧ 部活動が充実していると評価している生徒が80%以上である。	・本校の部活動方針に基づき、適切な運営を実施するとともに、技術・技能だけでなく人間性を高める工夫をする。	A	A	A			
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑨ 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていると認識している生徒が80%以上である。	・日々の観察と定期的アンケートにより状況を把握し速やかに対応するとともに、集会等によりいじめ防止の啓発を行う。	A	B	A			
		⑩ 欠席率が3%以下である。	・連続して欠席した生徒に対しては、担任を中心に生徒の実態を把握し、学年と教育相談係が連携して対応する。	B	-	B			
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪ 本校は規律ある学校だと評価している生徒が80%以上である。	⑩ 欠席率が3%以下である。	・連続して欠席した生徒に対しては、担任を中心に生徒の実態を把握し、学年と教育相談係が連携して対応する。	B	-			B
			⑪ 本校は規律ある学校だと評価している生徒が80%以上である。	・常日頃から基本的生活習慣の重要性を生徒に理解させるとともに、生活習慣の乱れを見逃さずに指導する。	B	A			B
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫ 進路プランニングⅠ・Ⅱ・Ⅲに積極的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	・進路プランニングを通して探究活動を推進し、知識や技能を身につけさせ、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、生徒それぞれの実践力の向上を図る。	B	B	B	・学校アンケートで「進路プランニングの授業に積極的に取り組んでいる」と答えた生徒が88%、保護者が82%であったのに対し、「進路プランニングの授業が生徒の進路実現に役立つ」と感じている職員は76%であった。学校アンケートで「進路プランニングの授業に積極的に取り組んでいる」と答えた生徒が88%、保護者が82%であったのに対し、「進路プランニングの授業が生徒の進路実現に役立つ」と感じている職員は76%であった。探究コンテスト等への積極的な参加や学びのアセスメントに繋がるなど、進路プランニングにおける活動の意義は大きく、引き続き学習の意図・意義などを職員や保護者、地域に向けて発信していく必要があると考える。 ・学校アンケートで「学校から提供される進路情報について役立っているか」の問いに対して、生徒・保護者ともに80%を超えており、一定の評価を得ている。	・進路プランニングは、生徒が主体的に取り組み自分の思いを発信していく素晴らしい取り組みであり、総合学科の重要な特色である。もっと保護者にアピールすることが必要ではないか。 ・進路プランニングの有用性についてのアンケートで、教職員からの数値が低いことが気になる。学校全体で合意形成をすることが大切である。 ・今日の教育では、探究的な活動が重要な鍵を握っている。だからこそ、探究活動が進路実現へと結びつくような働きかけを続けてほしい。	
		⑬ 学校から提供される進路情報が役立っていると評価している生徒が、80%以上である。	・進路実現に対する意欲を高められるよう、生徒に有用な情報を収集して資料作成や講演に生かす。「進路の手引」を進路指導や面談等において積極的に活用する。	A	A	A			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。	・進路実現に向けて、生徒一人ひとりの成果と課題を明確にする。また、面談等を通して、進路実現を図るための具体的な指導を計画的に行う。	A	A	A			
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮ 本校のホームページには必要な情報が掲載されていると評価している保護者が60%以上である。	・保護者のニーズを的確に把握したうえで作成するとともに、教育活動の成果や緊急の連絡などは即時性を高める。	A	A	A	・学校アンケートの保護者による評価では83%となっており、前年度が75%であったことから改善の成果が現れている。今後も閲覧者が欲しい情報を入力しやすい掲載形態について模索していきたい。	・引き続きホームページ等を活用した情報発信をしてほしい。 ・前東の生徒が公民館での企画に継続的に参加していることも、地域への情報発信を果たしている。	
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ ICTを使用して指導している教科が100%である。	・職員がICTを使用して指導する場面及び、授業改善のための情報交換の場を設定する。	B	B	B	・職員によるICT活用はとて高く、引き続き働き方改革も含めて教育のデジタル化を進めてほしい。 ・職員の96%がICTを活用して授業を行っていることは素晴らしい。ICTを鉛筆やノートのように学習道具の一つとして扱えるようになるためにもまずは授業で普段使いしていることは大切である。その上でICT活用が授業の目的とならないようにしてほしい。 ・「新聞の切り抜き提出」ができない家庭への配慮等、デジタル時代に沿った授業形態の模索を進めてほしい。		
		⑰ ICTを使用して授業や進路学習に取り組んでいると思う生徒が80%以上である。	・課題や補習、授業中の取組や進路プランニングの授業等で、ICTの使用が必要な場面を積極的に設定する。	A	A	A			
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑱ すく〜るねっと3やGoogleワークスペース、kinako、Chromebookなどを使用した業務改善を進めている職員が80%以上である。	・教職員間の情報共有を促し、ICTを活用した業務の効率化、作業時間短縮化等を図る。	A	A	A			